

古民家カフェを視察

岐阜の空き家利活用策を探る

新城の阿寺地区



リフォームした古民家での活動ぶりを聞き取ろうと、新城市下吉田の阿寺地区に1月31日、岐阜県養老町の大橋孝町長が視察に訪れた。古民家カフェを経営する内藤正八郎さんらと意見交換した。

(安藤聡)

同町では空き家の利活用を図ろうと昨年12月に古民家再生協会岐阜美濃と連携協定を結んだ。愛知県内の同協会組織で活動し、古民家をリフォームして移住促進に取り組み戸田由信さん(新城市内藤さん)左から2人目から話を聞く大橋町長(同3人目) 新城市下吉田で

の紹介で阿寺地区を訪れた。

3年前に移住して古民家カフェと民宿「紋屋」を営む内藤さんは「阿寺の滝を訪れた帰りに立ち寄りたり、家族や友人に紹介してまた来てくれる人もいます」と話すと、大橋町長は「口コミの力は素晴らしいですね」と感想を述べた。また戸田さんは「阿寺

地区ではほかの移住者もおり、会員制で農村部に宿泊する取り組みも行っている。受け入れ体制を整えることが大事」とアドバイスした。

同町では空き家は40

握る 車 壽 司

バリアフリー対応 AED常設

0軒以上あるという。大橋町長は「養老町は東海環状自動車道のインターチェンジもできて、町外の人たちと接する機会として空き家利活用策を探っていききたい」と話した。

稲垣さん考案

最優秀賞は

豊川市など募集 地

豊川市と市農政企画協議会は、今年も地産地消の推進を目的とする「第7回とよかわ『おもてなしレシピ』グランプリ」を開催した。

今回は「たっぷり食べりん」とよかわ野菜がテーマで、地元産の野菜を使ったオリジナルレシピを募集。15点の応募があり、書類審査を通

過した6作品の最終審査が市勤労福祉会館で行われ、食育キャラバン隊チームめだまやきが実際に調理して試食が行われた。

審査の結



果、稲垣満つ豊鍋が選ばれた。「ターに行くフルな野菜なので、それ料理にしたん、ハクサ、